

研究機関：広島大学

研究課題名	他臓器進行癌合併早期胃癌に対するESD施行例の治療成績と予後
研究責任者名	広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 岡 志郎
研究期間	2022年1月20日(倫理委員会承認後)～2032年12月31日
対象者	2005年2月1日から2030年12月31日の間に、広島大学病院内視鏡診療科において他臓器進行癌合併早期胃癌に対し内視鏡切除を受けられた患者さん。
意義・目的	様々な癌腫において治療が進歩し、予後延長が見込める症例が増加したため、重複癌が生じる場合があるものの、重複癌に対する治療方針は確立しておらず、各施設の方針に沿って診療が行われています。今回、他臓器進行がん合併早期胃癌に対して施行した内視鏡切除の治療成績と予後について検討するため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は、年齢、性別、既往歴、病変の部位、肉眼型、大きさや、切除法、治療時間、病変の一括切除率や偶発症発生率、再発率などです。なお、個人を特定可能な情報は解析に用いません
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 岡 志郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生じることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5939 広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 岡 志郎